

2026 年度 岡崎市立山中小学校部活動に係る活動方針

1 本校の現状

- ・ソフトボール部（男子）、バレーボール部（女子）、陸上部（男女）音楽部（男女）が活動し、入部は希望制としている。
- ・部活動に入っている児童は、部活動を楽しみにしている子が多く、保護者の理解・協力を得ながら実施している。

2 本校における課題

- ・子供の興味は多種・多様化しており、家庭での過ごし方は過密化傾向にある。部活動により、家族との触れ合いなどのゆとりの時間が確保されないこともある。
- ・練習試合の有無、回数に偏りがある。会場までの送迎や弁当の準備等で保護者の負担が大きい部もある。
- ・限られた活動時間の中で、より効果的な練習内容を考えていく必要がある。

3 具体的な活動方針

（１）部活動運営について

- ・部活動は、子供が個人や集団としての目的や目標をもち主体的な活動を継続することにより、自己肯定感や責任感、自主的自立的な心や態度を養う場とする。
- ・学校は、学校の教育活動や地域の行事等を考慮し、児童の負担が過度にならないよう活動日、活動時間を弾力的に設定していく。
- ・顧問は、児童の能力・適性、興味・関心等に応じつつ、健康・安全に留意し、発達段階に応じて合理的かつ効率的・効果的な活動が行われるよう配慮する。

（２）活動量（休養日や活動時間等）について

ア．平日

- ・原則、平日は週２日以内（年間を通じて 月・火・木休み）とする。
- ・活動時間は、１６：３０まで。（部活動下校時刻１６：４０）
- ・１１，１２，１月は行わない。（運動部は、７，８月も行わない）

イ．休日（週休日及び祝日）

- ・休日の練習は月２回まで。土曜日の午前中を基本とし、他は休養日とする。
- ・活動時間は、原則３時間以内とする。
- ・１１，１２，１月は行わない。（運動部は、７，８月も行わない）

ウ．長期休業中

- ・土日については、原則活動をしない。
- ・活動時間は３時間以内とし、終日練習はしない。
- ・熱中症対策として夏季休業中の練習は行わない。ただし音楽部については、コンクールに参加する場合、健康安全に留意しながら実施可とする。

エ．令和９，１０年度の活動について

- ・平日は、水・金曜日の２日を活動日とし、週休日の練習は行わない。ただし、大会前には、練習試合等を行うために、週休日も実施可とする。

4 その他

(1) 今後の部活動について

岡崎市の中学校では部活動の地域移行が段階的に進んでおり、令和7年度の夏の大会終了後からは、全競技が近隣の中学校と結合した「地域ブロック部活動」となり、令和11年度以降は、完全に学校管理下外の地域移行となる。そこで、小学校の部活動も全市的に令和10年度までの活動となる。

本校のソフトボール部とバレーボール部については、部員数が減少していった場合、大会への参加や練習に支障が出ることが予想されるため、以下のようにする。

○ソフトボール部（選手9名）は、新4年生を含む総部員数が18名に達しない場合、次年度の部員募集は行わずに、その年度の大会終了後に部活動を閉じることとする。大会後の4・5年生は、他の部活動への転部も可能とする。

○バレーボール部（選手6名）は、新4年生を含む総部員数が12名に達しない場合は、次年度の部員募集は行わずに、その年度の大会終了後に部活動を閉じることとする。大会後の4・5年生は、他の部活動への転部も可能とする。

(2) 保護者及び地域との連携

- ・顧問は日ごろから保護者との信頼関係を築き、子供たちの活動が充実したものになるよう心掛ける。
- ・部活動について積極的に情報を発信し、指導方針や活動計画を保護者に周知することで、保護者からの理解を得る。

(3) 安全の確保と緊急時の対応

- ・活動場所の施設や設備、道具等について、定期的に安全点検を実施し事故防止に努める。
- ・熱中症を予防するために、熱中症指数に留意し、十分に水分や塩分が補給できる休憩時間を確保するとともに、適切な睡眠時間を確保するよう家庭へ依頼するなどして子供の健康管理を徹底する。
- ・落雷事故を避けるため、雷雲の接近に注意し、雷鳴がかすかでも聞こえたときは、素早く非難するようにする。
- ・事故発生時は「けが・交通事故等の緊急体制」に沿って、医療機関で受診できるよう迅速に対応する。
- ・事故が発生した後には、速やかに事故原因を分析し安全管理と指導の在り方について検討し、再発防止対策を講じる